

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		認定こども園の誘致					所管	教育委員会 学務課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	207	計画事業名	認定こども園の整備			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成							[事業開始] 平成27年度	
		[小 柱] (2) 就学前児童に対する教育・保育の充実							[終了予定] 平成29年度	
		[施策] ① 就学前教育の推進								
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし						
	事業対象	区内の就学前児童及びその保護者								
	事業目的	教育・保育施設として認定こども園を整備することにより、就学前の子供に一貫した教育・保育を受ける機会を提供するとともに、地域における子育て支援を充実する。								
	事業内容	運営事業者の選定を行い、開設準備経費等の一部を補助することにより、認定こども園を整備する。 (平成28年4月開設 はぐはぐキッズこども園東上野)								
委託の有無	なし	委託内容								
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度			
	活動指標	補助件数	件	1	-	-	1			
		施設整備数(開設数)	園	1	-	-	-			
	成果指標	利用定員数	人	78	-	-	-			
		決算額 (単位:千円)						-	-	99,402
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-	-	-	3,208		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-	-	-	0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-	-	-	99,402		
		総経費			-	-	-	102,610		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-	-	-	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-	-	-	55,269				
一般財源(区負担額)			-	-	-	47,341				
前回評価から改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	就学前の子供に一貫した教育・保育を受ける機会を提供するため、また、高まる保育需要に対し、待機児童の解消に向けた教育・保育施設の整備が必要である。							
	効率性	3	平成28年4月開設の認定こども園については、民間物件の活用により、効率的に教育・保育施設の整備が図られた。							
	手段の適切性	3	事業者が土地・建物を調達(賃貸)、改修整備することを条件に募集してきたが、区内で一定規模以上の物件を確保することが難しく、事業者が提案をあげる上で最大の課題となっていたため、平成29年度開設予定の認定こども園の整備については、区有地を活用し整備することとした。							
	目的達成度	4	台東区次世代育成支援計画に基づく認定こども園の整備については、平成28年4月開設が計画どおりに進み、また、平成29年度開設予定の整備についても、一定の方向性を見出し、計画どおりに進んでいる。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性			
幼児教育の充実を図り、また、多様な保育ニーズに対応するため、教育・保育施設の整備を進め、教育・保育環境の向上を図っていく必要がある。							維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		